

5. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI=Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告いたします。

●2013 年度の MSJ-SI 「モジュライ理論の発展 (Development of Moduli Theory) 」

(組織委員会代表者: 金銅誠之) は,

2013 年 6 月 11~14 日: レクチャーシリーズ

2013 年 6 月 17~21 日: 研究集会

の日程で, 京都大学数理解析研究所において開催されました。詳細については, ウェブページ

<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja>

[/research/conference/2013/moduli.html](http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/research/conference/2013/moduli.html)

及び, 別項に掲載の「第 6 回 MSJ-SI (2013 年度) 開催報告書」をご覧ください。

●2014 年度の MSJ-SI の予定は以下の通りです。

2014 年度 MSJ-SI

「双曲幾何と幾何学的群論 (Hyperbolic Geometry and Geometric Group Theory) 」

日時: 2014 年 7 月 30 日 (水) ~ 8 月 5 日 (火)

場所: 東京大学大学院数理科学研究科

組織委員会代表者: 大鹿健一 (大阪大学)

詳細については, ウェブページ

<http://www.is.titech.ac.jp/msjsi2014/>

をご覧ください。

●2015 年度の MSJ-SI の公募は, 2013 年 5 月 31 日に締め切りました。採択の結果については, 次回の数学通信で報告させていただきます。

●2016 年度 MSJ-SI テーマ公募について

学術委員会では 2016 年度 (平成 28 年度) の MSJ-SI についてテーマ公募を開始します。

締切は 2014 年 5 月 31 日です。

学術委員会のウェブページ

<http://mathsoc.jp/comm/scientific/>

をご参照ください。

MSJ-SI は, 以下の特徴を持ちます。

・数学会から 200 万円の助成金が提供されます。

・数学会事務局が事務手続きについて可能な範囲において援助を行います。(詳細については下記メールアドレスまで問い合わせく

ださい。)

・東アジアの数学会の協力のもとで, 韓国と台湾から限られた人数の大学院生, 若手研究者を, 数学会が招待しています。(この部分については数学会理事会の担当となっています。)

・専門家向けの講演とともに, 大学院生・若手研究者向け, あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行うことを推奨しています。(これを MSJ-SI の方向とお考えください。)

公募に申請される方は, どうか締切までに, 研究集会のテーマ, 提案理由, 主要な講演者 (事前承諾不必要) を野海正俊 (noumi(at)math.kobe-u.ac.jp) までお送りください。

また, このメールアドレスへの事前の問い合わせも歓迎いたします。

(学術委員長 野海正俊 記)